

令和元年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第73回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

令和元年6月2日(日) Bブロック 準決勝 富士北麓公園体育館 Aコート 第1試合

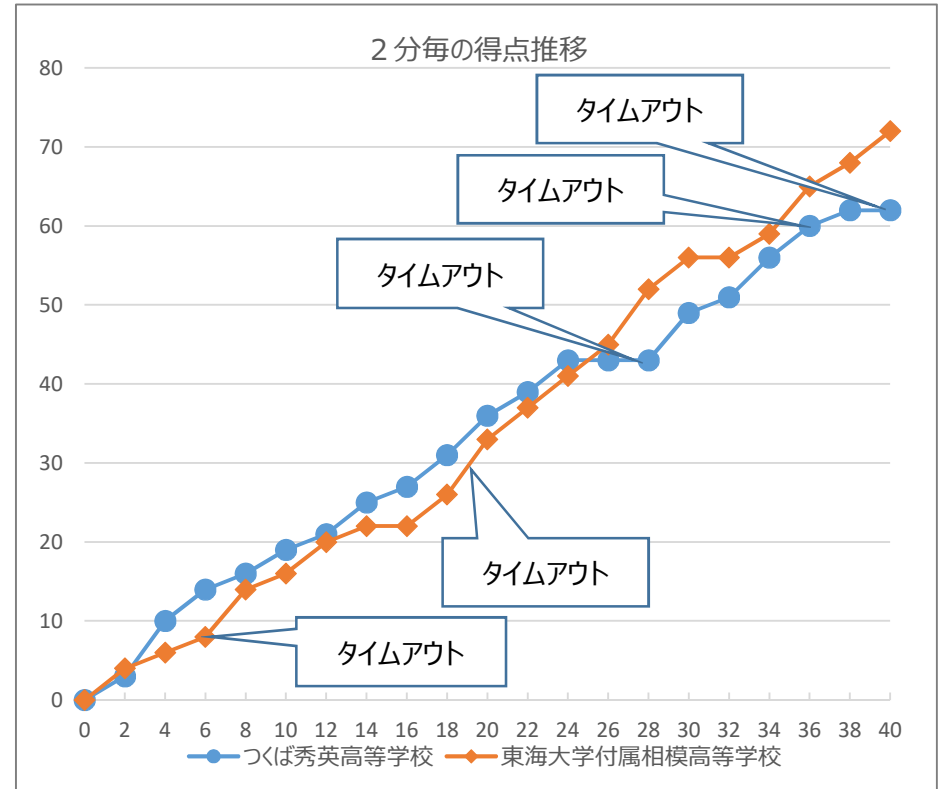
チームA		19	1st	16		チームB
つくば秀英高等学校 (茨城県)	62	17	2nd	17	72	東海大学付属相模高等学校 (神奈川県)
		13	3rd	23		
		13	4th	16		
			OT			

Aチーム： つくば秀英高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	安藤 匠汰	4	0	6	1	6	2	6	0	5	1	6
2	*	5	山本 魁	25	3	5	5	15	6	9	1	4	7	11
3		6	飯塚 峻平	0	0	0	0	1	0	0	2	2	1	3
4	*	7	柴田 大樹	12	0	0	4	6	4	8	4	0	8	8
5	*	8	根本 大	11	1	10	2	5	4	5	5	1	9	10
6		9	鈴木 大樹											
7	*	10	齊藤 雄都	10	0	0	3	7	4	8	1	1	2	3
8		11	鈴木 治輝	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9		12	南雲 小徹											
10		13	渡邊 洵也	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	2
11		14	小川 翔平	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
12		15	山口 大輝											
13		16	安田 慎ノ助											
14		17	目良 健											
15		18	勅使河原 広希											
HC/TEAM			稲葉 弘法									1	5	6
			合計	62	4	24	15	41	20	36	14	15	35	50

Bチーム： 東海大学付属相模高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	熊谷 真希	9	1	2	3	7	0	1	3	2	12	14
2	*	5	菅澤 綾人	10	0	2	4	11	2	2	4	6	3	9
3		6	田尻 銀之介	2	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1
4	*	7	蛭子 修二	2	0	7	0	3	2	2	2	1	4	5
5	*	8	白井 将也	17	2	3	4	10	3	5	3	2	7	9
6		9	佐藤 駿也	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
7		10	日下 爽	0	0	2	0	1	0	0	1	0	2	2
8		11	立花 諒	13	1	5	4	5	2	5	1	1	0	1
9		12	及川 聖人											
10		13	根岸 遥大											
11		14	小山 開大	7	0	0	3	5	1	3	3	2	1	3
12	*	15	御林 広樹	12	2	4	3	5	0	0	4	2	3	5
13		16	市川 凌大											
14		17	菅原 大夢											
15		18	土田 トリスタン 葉											
HC/TEAM			原田 政和									1	3	4
			合計	72	6	25	22	51	10	18	21	17	36	53



戦評

記事者：横内 裕三 (山梨県高体連)

1 Q、お互いハーフコートディフェンスで入る。立ち上がり両チームとも堅くなかなかシュートを決められない中、先にリズムを掴んだのは秀英。#5、#7、#10を中心に得点し、6分で12-6となり東海相模タイムアウト。その後、東海相模もリズムが生まれ、#5、#6、#8を中心に得点を重ねる。19-16秀英リードで1 Q終了。2 Q、互いに一進一退の攻防が続く。残り1分、秀英#7のスティールをきっかけに33-26と引き離しかかる所で東海相模タイムアウト。その後、東海相模#11のドライブ、#15の3 Pで再び流れを掴み、36-33秀英リードで前半終了。3 Q、3分東海相模#15の3 P、ゴール下、#8のブレイクで41-39と逆転。秀英は#7が4ファウルで交代するとオフェンスのリズムが掴めなくなる。東海相模はその間に#8、#5、#14で連続得点し、残り2分49-43となったところで秀英タイムアウト。その後は一進一退となり56-49東海相模リードで終了。4 Q、秀英はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、#7がコートへ戻り秀英が息を吹き返す。#8、#7、#10と得点を重ね、開始3分で56-56と追いつくが東海相模#15、#8のゴール下や3 Pで粘り、残り4分66-60と東海相模がリードしたところで秀英タイムアウト。何とか追いつきたい秀英であったが、ルーズボール、リバウンドでシュート回数を増やすもリングに嫌われてしまう。72-62で東海相模の勝利。互いにルーズボール、ディフェンスと迫力のあるゲームであった。

主審	第1副審	第2副審
丸山 淳 (山梨県)	石崎 公一 (群馬県)	手塚 清孝 (山梨県)